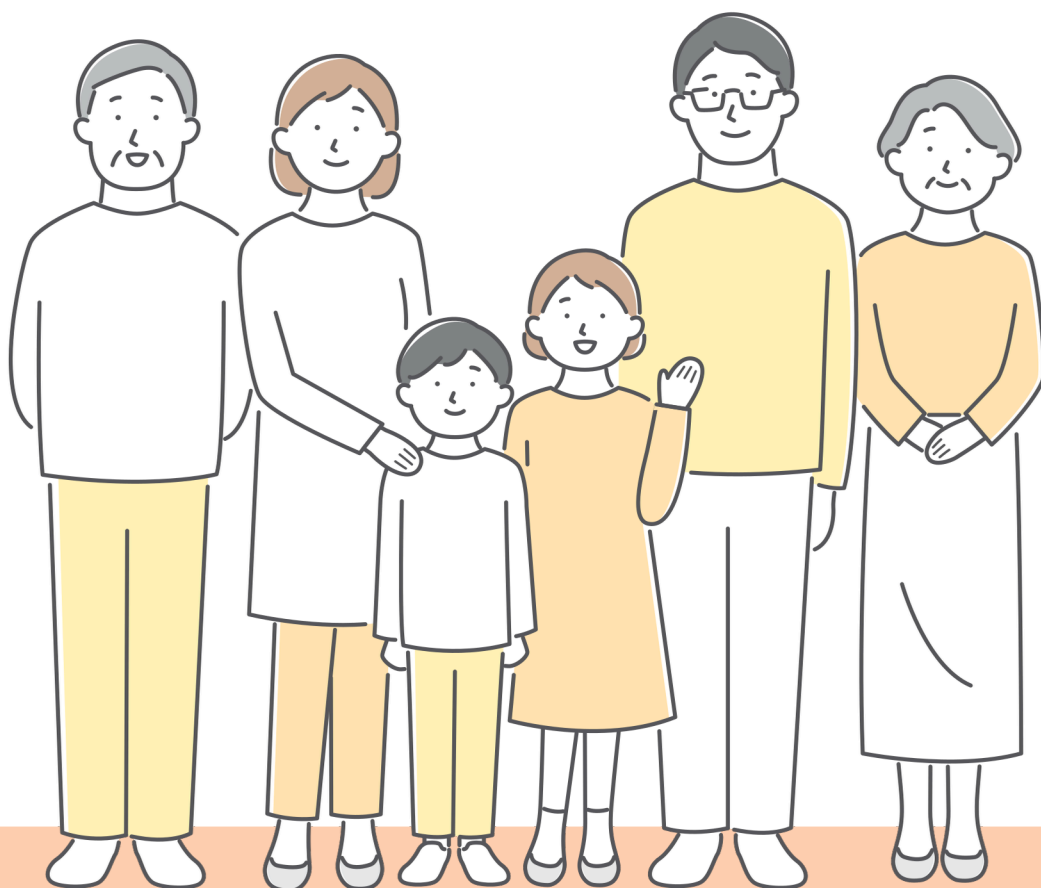


# 知って安心！

## 福島県の

## 葬儀社の

## 選び方



# 葬儀の種類と葬儀社の選び方

～比較とチェックポイント～

“もしもの時”は突然に訪れるもの。事前に知っておくだけで不安がぐっと和らぎ、落ち着いて準備ができるようになります。葬儀の代表的な種類には次のものがあります。

「一般葬」「家族葬」「一日葬」「直葬」

それぞれの特徴をわかりやすく紹介します。

## 一般葬

通夜・告別式を行い、多くの親族や会葬者が参列向いている人  
しっかりとした形式で見送ってほしい方・見送りたい方

### メリット

- 多くの人と丁寧なお別れができる
- 伝統的な形式

### デメリット

- 費用や準備の負担が大きい

費用相場  
90万円～

## 一日葬

通夜を行わず、1日で告別式と火葬を済ませる形式向いている人  
費用を抑えたいけどお別れの時間をしっかりと過ごしたい方

### メリット

- 通夜なしで身体・時間・費用面の負担が少ない

### デメリット

- 参列者の都合が合わない可能性がある

費用相場  
40～100万円

## 家族葬

親族中心で小規模に行う、近年増えている形式向いている人  
親しい人だけで静かに送ってほしい方・送りたい方

### メリット

- 少人数で落ち着いて見送れる
- 費用を抑えやすい

### デメリット

- 後から参列希望者が出る可能性がある

費用相場  
50～135万円

## 直葬

通夜や告別式を省略し、火葬のみ行うシンプルな形式向いている人  
費用や手間を最小限にしたい方

### メリット

- 費用が最も安く、手続きもシンプルで簡単

### デメリット

- お別れの時間がほとんど持てない

費用相場  
10～30万円

葬儀の流れ

ご逝去

葬儀社へ連絡

搬送・安置

打ち合わせ

納棺・通夜準備

通夜

告別式・出棺

火葬

初七日法要

四十九日法要

納骨

葬儀社は“価格”だけで選んでしまうと、あとから“こんなはずでは...”と後悔することも…。トラブル例と対策を参考に、安心できる葬儀社選びをしていきましょう。

## よくあるトラブル例と対策

### ①最初の見積より大幅に高くなった

- 選んだプランに含まれていない項目が後から追加されていた
- 返礼品・料理・お布施など“別会計”が多い

対策

- プランの項目を事前に確認する
- 追加費用の発生条件を質問する
- 総額目安を書面でもらう

### ②スタッフの対応が事務的で冷たかった

- 質問しても曖昧な返答だった
- 打ち合わせが流れ作業のようで不安になった

対策

- 事前相談の時点で“寄り添い姿勢”を確認する
- 質問に対して丁寧に説明してくれるか観察する
- 後のサポート体制（法要・納骨など）も聞く

### ③葬儀場が不便だった

- 参列人数に対して葬儀場が手狭だった
- 控室やトイレが不十分、高齢者に配慮がない

対策

- 広さ、設備、アクセス等を見学して確認する
- 車椅子対応・バリアフリーなどの環境もチェック
- 雨天時の対応や駐車場の有無も確認する

### ④当日の段取りが悪く進行に問題が出た

- 式の開始時刻が大幅に遅れた
- 出棺や移動が遅れ、火葬場に間に合わない

対策

- 当日のタイムスケジュールを書面で確認
- 担当と密に連絡をする
- 親族にもタイムスケジュールを共有する

Point

「相談したから契約しなきゃいけない」ことはありません！

事前に相談した方はトラブルが少なく、満足度が高い傾向にあります。後悔しないために気になることは何でも相談しましょう！

## 葬儀社選びのチェックポイント

- ☐ 料金プランが明確に提示されているか
- ☐ 葬儀場や火葬場へのアクセスはいいか
- ☐ 料金プランに含まれる内容と追加費用の可能性のある項目が明確か
- ☐ 希望の宗教形式に対応しているか（仏式・神式・無宗教など）
- ☐ スタッフの対応や雰囲気は信頼できるか
- ☐ 葬儀の実績や口コミは良好か
- ☐ 事前相談のしやすさ（予約・対応時間）
- ☐ 相談後のしつこい営業がないか
- ☐ 家族の意向に柔軟に対応してくれそうか
- ☐ 希望を整理して事前に相談しましょう！
- ☐ 葬儀場の広さ・設備は希望に合っているか



## 葬儀社選び

～よくある質問～

### Q1.葬儀社はどうやって探せばいい？

**A1.**地元の葬儀社、ネット検索、比較サイトなどから、複数を見比べて資料請求や事前相談してみましょう。

### Q2.家族葬が良いけど、参列したい人が出たら？

**A2.**通夜・葬儀後にお別れの会を設けるなど柔軟に対応できます。

### Q3.火葬場の場所は自分で選べる？

**A3.**地域や施設の空き状況によっては選べます。火葬場の場所によって移動時間や費用が変わることもあります。

### Q4.見積書はどこをチェックすべき？

**A4.**プランに「含まれる内容」「追加になる項目」「お布施など別費用」などの明細が丁寧に記載されているかが重要です。

### Q5.無宗教の葬儀ってできる？

**A5.**可能です。音楽葬や自由な献花形式など、宗教色を控えた“お別れ会”のようなスタイルも増えています。

### Q6.直葬にすると後悔する人もいる？

**A6.**「きちんとお別れできなかった」と感じる方もいます。事前に家族と話し合い、後悔のない形式を選びましょう。

### Q7.お布施の金額は葬儀社が決める？

**A7.**いいえ。お布施は本来、僧侶への謝礼であり、金額は目安はありますが、地域・宗派・関係性により異なります。



## 大切な人の負担を軽くするために

～相続における遺言書の重要性～

「相続はお金持ちの話で自分や家族には関係ないから遺言書も必要ない」と考えていませんか？

実際には、お墓や葬儀をきっかけに小さなトラブルが表面化し、残されたご家族が思わぬ負担を抱えてしまうケースも少なくありません。

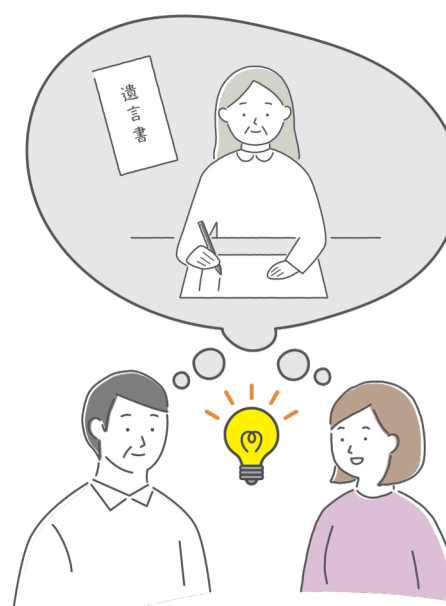
相続は“財産の手続き”であると同時に、“家族の気持ちの整理”にもつながる大切なもの。あらかじめご自身の希望や人生について記しておくことで、残された方の負担や不安を大きく減らすことができます。



### 遺言書がある場合とない場合の違いの比較

	遺言書がある場合	遺言書がない場合
相続人の確認	遺言に記載された相続人を対象として手続きできる	<b>相続人全員</b> を戸籍から確認する必要がある
遺産分割の話し合い	基本的に不要（遺言通り分ける）	<b>相続人全員</b> で遺産分割協議が必要
必要書類・手続きの数	遺言に記載された相続人が対象なので、比較的少ない	<b>相続人全員</b> の署名・実印・印鑑証明が必要
トラブルの可能性	意思が明確なので少ない（ただし内容が不明瞭だと別）	言った・聞いてない・不公平だなどのもめごとが起きやすい
相続手続きにかかる時間	比較的スムーズ（1～3ヶ月程度）	話し合いの難航や書類集めで長期化することも
家族の精神的負担	故人の意向が伝わることで安心納得しやすい	決めきれずに悩み、感情的な衝突につながる場合も

疎遠な親族も対象となり協力が困難な場合も



#### Point

遺言書があるだけで、手続きの労力や人間関係の負担を大幅に軽減できます。財産が多くななくても、「誰にお墓を任せてほしいか」「葬儀の形式はどうしたいか」などを明確にしておくだけで 家族の悩みや迷いを減らすことができます。

お近くの法務局に遺言書を保管してもらう制度もあり、これを利用すれば紛失や改ざんを防げ、検認の手続きも不要でさらにスムーズで

制度について（法務省HP）▶



仙台市の葬儀社をチェックしましょう！



相続について





最新葬儀情報を掲載しています



葬儀の 口コミ

検索

葬儀業界 口コミ掲載数

